

## 履修モデル

専攻	異文化コミュニケーション学専攻			
領域	異文化交流領域		英語教育領域	
履修モデル	モデル1	モデル2	モデル3	モデル4
専攻必修 3科目 6単位	キリスト教平和学特論(1・前) Research Project I (1・前) Research Project II (1・後)			
領域必修 3科目 6単位	比較人文学特論(1・前) 異文化コミュニケーション学特論Ⅰ(1・前) 異文化コミュニケーション学特論Ⅱ(1・後)		英語教育学特論Ⅰ(1・前) 英語教育学特論Ⅱ(1・後) 英語教授法特論(1・後)	
授業科目 選択必修 5科目 10単位	国際関係特論(1・前) 社会言語学特論(1・後) Communication in Situations of Unequal Power(1・後) 非言語コミュニケーション学特論(1・後)	国際理解教育特論(1・前) 地域研究特論(Okinawan Studies)(1・後) 日英翻訳実践(1・後) Communication in Situations of Unequal Power(1・後)	○異文化コミュニケーション学特論Ⅰ(1・前) △国際理解教育特論(1・前) △社会言語学特論(1・後) ○Theories & Practices in Western Rhetoric(1・後) ○英米文学特論(1・後)	○異文化コミュニケーション学特論Ⅰ(1・前) 非言語コミュニケーション学特論(1・後) ○Theories & Practices in Western Rhetoric(1・後) 日英翻訳実践(1・後) Communication in Situations of Unequal Power(1・後)
	キリスト教学特論(2・後) Systems and Discourses of Social Inequity(2・前)	死生学特論(2・後) Systems and Discourses of Social Inequity(2・前)	健康科学特論(2・前) Systems and Discourses of Social Inequity(2・前)	キリスト教学特論(2・後) Systems and Discourses of Social Inequity(2・前)
論文指導 2科目 8単位	異文化コミュニケーション学特別演習Ⅰ(2・前) 異文化コミュニケーション学特別演習Ⅱ(2・後)		英語教育学特別演習Ⅰ(2・前) 英語教育学特別演習Ⅱ(2・後)	応用言語学特別演習Ⅰ(2・前) 応用言語学特別演習Ⅱ(2・後)
期待される進路	国内外の国際機関、NPO、NGO、JICA、マスコミ、国内外の大学院博士課程へ	県や市町村の国際交流窓口、一般企業、マスコミ、通訳・翻訳	中学校・高校の英語教員、国内外の大学院博士課程へ	通訳・翻訳、教育機関や一般企業、国際交流団体
※選択必修科目欄において、○印の付いた科目は教職課程専修免許状取得における必修科目、△印は選択必修科目(2科目4単位)を示す。				